

広島市植物公園 見どころ案内

2018年5月12日
通巻第368号

バラ (バラ科)

モダンローズ、オールドローズ、世界の野生種、広島に関わるバラなど700種を植栽しています。詳しくはローズフェスティバル2018ガイドマップをご覧ください。

サボテンの花

フェロカクタス‘黄彩玉’や‘天城’ウチワサボテンの仲間など、様々な品種で大きな花が見頃です。

大温室

リニューアル

日本一のバオバブやベンガルポダイジュなど650種5000本の植物を展示。見どころは裏面にあります。

カスケード花壇の植物

見事な穂状花を咲かせているのはデルフィニウム。花をツバメが飛ぶ姿に見立てて和名は大飛燕草(オオヒエンソウ)。ピンクのかわいらしい花を多数咲かせているのはリクニス。オレンジや黄色の鮮烈な花はナスたちウム。花言葉は勝利。カープコラボTシャツのデザインにも採用されています。

フタリシズカ

(センリョウ科)

名は静御前にちなみます。フタリシズカとはいいながら、2本以上花穂があがることがあります。近縁のヒトリシズカは花穂が1本あがります。

展示会のご案内

- ◇展示温室 (～5/24)
- ハーブ展
- ◇展示資料館 (5/8～6/6)
- 趣味のボタニカルアート展

ミヤコワスレ (キク科)

春咲きのノギクです。濃い紫や淡い青の花が群生して風情があります。すぐ近くのモミジの枝にモリアオガエルの卵が産み付けられているのも必見です。

トチノキ (ムクロジ科)

葉の間から穂状の花が立ち上がっています。雄しべが伸び、華やかな様相を呈しています。

カルミア (ツツジ科)

別名アメリカシャクナゲ。金平糖のようなつぼみ特徴的で、どこか人工的な感じもします。

シャクヤク (ボタン科)

薬用、観賞用に栽培される宿根草です。ボタンに似ているが木になりません。白い清楚な花が咲いています。

キソケイ (モクセイ科)

ヒマラヤ原産。ソケイはジャスミンの別名。同属ですが、香りはありません。

